

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名
文化言語学部	准教授	黄 蘊

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 文化人類学の授業について	平成22年4月～平成24年8月	関西大学で担当した文化人類学の授業においては、東アジアと東南アジア社会の民族、宗教、食文化に関する問題を取り上げ、解説を行った。また、毎回授業のあとに、学生に感想や質問を書いてもらい、次の授業時にそれらに対して、解説を行うことで、双方向的な授業の実現をはかった。
(2)作成した教科書・教材・参考書 (1)「エスニシティを生きる移民」『東アジアの窓』第2号(北陸大学) (2)「コピーディラム(珈琲店)が伝える美食と文化」『Reflection 7』(関西大学)	平成21年3月31日 平成23年3月31日	近年における人類学研究の新たな趨勢、日本の人類学研究の東アジア社会研究に対す貢献を概観した。シンガポールの大衆料理文化、コーヒー文化の形成を跡付け、移民と文化創造の関係を論じた。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項 フィールド調査の計画立案、引率	平成21年8月～9月	関西大学文化交渉学教育研究拠点の大学院生によるベトナム・フエでの集落の歴史、宗教信仰の実態についてのフィールド調査に際し、その計画立案、引率、調査の指導を行った。

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
『東南アジアの華人教団と扶鸞信仰——徳教の展開とネットワーク化』	単著	平成23年12月	風響社		
『往還する親密性と公共性——東南アジアの宗教・社会組織にみるアイデンティティと生存』	編著	平成25年1月	京都大学学術出版会		
(論文)					
「スピリチュアリティの親密圏から公共性へ——イスラーム世界マレーシアの「仏教公共圏」」	単著	平成25年1月	『往還する親密性と公共性——東南アジアの宗教・社会組織にみるアイデンティティと生存』	黄蘊編、京都大学学術出版会	pp.163-191

「マレーシアという地域空間における仏教徒の移動と多様化する「功德」観」	単著	平成26年3月	『積徳行と社会文化動態に関する地域間比較研究—東アジア・大陸東南アジア地域を対象として—』	長谷川清・林行夫編、京都大学地域研究統合情報センター	pp.69-77
「上座仏教を实践する「華人」たち——マレーシアの上座仏教徒についての考察」	単著	平成27年3月	『「華人」という描線—行為実践の場からの人類学的アプローチ』	津田浩司・櫻田涼子・伏木香織（編）、風響社	pp.81-112
(その他)					
書評「奥村みさ著『文化資本としてのエスニシティ——シンガポールにおける文化的アイデンティティの模索』国際書院、2009年」	単著	平成24年11月	『華僑華人研究』第9号		pp.118-122

### Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成23年4月～平成25年3月	日本華僑華人学会 学会誌編集委員
平成26年4月～現在に至る	日本マレーシア学会 関西地区運営委員